

p.12, 14, (16), 17 日本パーソナルカラー協会認定 JPCA 講師・JPCA パーソナルカラーアナリスト® の記事・写真を差替え
p.16 は、p.17⇒p.16 へ ページ位置のみ変更

p.4 INDEX ●美のプロフェッショナル [上記の変更に関連した以下の修正](#)

<改訂前>		<改訂後>	
●ファッションコーディネーター	12	●ビューティーアドバイザー	12
●メガネコーディネーター	16	●メイクアップアーティスト	16
●メイクアップアーティスト	17	●アーティスト	17

p.8-9 JPCA ×MAKE UP 「春」「夏」「冬」の写真を微調整

p.8 JPCA ×MAKE UP 「春」の写真右下に提示のメイク使用色見本3色のうち、左端の色を修正

⇒実際の写真や色は、ここに再現できないため、改訂版テキストでご確認をお願いいたします。

p.10 モジュール1 検定概要のご案内 [の会場](#)

<改訂前>		<改訂後>	
●会場	日本全国主要都市 / 韓国 / 台湾	●会場	日本全国主要都市 / アジア各地

p.24 カラーページ [の下「C」の解説](#)

<改訂前>		<改訂後>	
Dと見比べて、顔の明るさの変化を見てみましょう 顔色が明るくふっくら見えませんか？		Dと見比べて、顔の明るさと大きさの変化を見て みましょう 顔色が明るく膨張して見えませんか？	

p.25 カラーページ [の下「D」の解説](#)

<改訂前>		<改訂後>	
Cと見比べて、顔の明るさの変化を見てみましょう 顔色が暗く引き締まって見えませんか？		Cと見比べて、顔の明るさと大きさの変化を見て みましょう 顔色が暗く収縮して見えませんか？	

p.28 カラーページ [の下「G」の解説](#)

<改訂前>		<改訂後>	
Hと見比べて、肌のツヤ、質感の変化を見てみましょう。 肌にツヤが出て、輪郭がクリアに見えませんか？		Hと見比べて、肌の質感とフェイスラインの変化を見てみ ましょう。 肌にツヤが出て、フェイスラインがクリアに見えませんか？	

p.29 カラーページ [の下「H」の解説](#)

<改訂前>		<改訂後>	
Gと見比べて、肌のツヤ、質感の変化を見てみましょう。 肌がマットに見え、輪郭がソフトに見えませんか？		Gと見比べて、肌の質感とフェイスラインの変化を見てみ ましょう。 肌がマットに見え、フェイスラインがソフトに見えませんか？	

p.36 CHECK 光・物体・目とパーソナルカラー

●光 の3行目

＜改訂前＞

※日中の太陽光に近い環境で・・・

＜改訂後＞

※日中の太陽光に近い光で・・・

p.41 POINT

＜改訂前＞

色相環を・・・

＜改訂後＞

色相環（詳しくは P59）を・・・

p.45 ●有彩色の明度は無彩色を基準に考える

の1行目

＜改訂前＞

P40 で学んだ色相環にも・・・

＜改訂後＞

色相環にも・・・

p.46 明度の違いによる顔の見え方

写真下の文字

＜改訂前＞

左側の写真：高明度 右側の写真：低明度

＜改訂後＞

左側の写真：明度が高い 右側の写真：明度が低い

p.46 明度の違いによる顔の見え方

表の見出し行を以下の通り訂正

明度の違いによる
主な顔の見え方

明度が高い（明るい）

明度が低い（暗い）

p.50 彩度の違いによる顔の見え方

写真下の文字

＜改訂前＞

左側の写真：高彩度 右側の写真：低彩度

＜改訂後＞

左側の写真：彩度が高い 右側の写真：彩度が低い

p.50 彩度の違いによる顔の見え方

表の見出し行と「彩度が高い」の「共通心理」2行目を以下の通り訂正

彩度の違いによる
主な顔の見え方

彩度が高い（派手）

彩度が低い（地味）

共通心理
Common Effect

顔の印象（パーツ）が強く見える
肌の色は鮮やかに見える

顔の印象（パーツ）が弱く見える
肌の色は薄く見える

p.54 清濁の違いによる顔の見え方 清色は肌の質感に・・・の3～4行目

<改訂前>
 見せる・・・濁色は一枚のヴェールを・・・ソフト
 に見せるような・・・

<改訂後>
 見せる・・・濁色は薄いベールを・・・ソフトに見
 せるフィルターのような・・・

p.54 清濁の違いによる顔の見え方 表の「共通心理」2～3行目を以下の通り訂正

清濁の違いによる 主な顔の見え方	清色 (クリア)	濁色 (ソフト)
共通心理 Common Effect	肌にツヤ (光沢) が出る フェイスライン (輪郭) や顔の中の線が はっきり (クリアに) 見える	肌がマットに見える フェイスライン (輪郭) や顔の中の線が 柔らかく (ソフトに) 見える

p.56 CHECK 色の属性とパーソナルカラー分析診断 題名の訂正

<改訂前>
 色の属性とパーソナルカラー分析診断

<改訂後>
 色の属性とパーソナルカラー

p.56 CHECK 色の属性とパーソナルカラー 表の見出し「顔への影響」と「彩度」の「顔への効果」を以下の通り訂正

色の属性	顔への主な影響	顔への効果
彩度	顔の印象の強さ	高：顔の印象 (パーツ) が強く見える・肌の色は鮮やかに見える 低：顔の印象 (パーツ) が弱く見える・肌の色は薄く見える

p.56 CHECK 下の 色は相対的なもの ●相対的に判断する場合 の2段落目「色を扱う仕事では・・・」を以下のように変更

色を扱う仕事では、絶対的な色の評価 (絶対値の把握) が必要な場合もありますが、目の前に色が1色しかないという状況はめったになく、複数の色同士を同時に目にしているのが通常環境です。特にパーソナルカラーでは、同系色同士を比較して相対的な評価をします。色を見る仕事をするうえでは、身の回りにある色同士を比較して、相対的に色を見分けていくことも重要な技能といえます。

p.59 PCCSの色相環 の色相環図内 以下の文字を削除

イエロー（Y） シアン（C） マゼンタ（M）

➡実際の色相環は、ここには再現できないため、改訂版テキストでご確認をお願いいたします。

p.60 PCCSのトーン分類 のトーン図内のvトーンとbトーンの色を調整

➡実際のトーン図は、ここには再現できないため、改訂版テキストでご確認をお願いいたします。

p.60 ●トーンとは の右側パールトーンの色見本の上の説明文

➡「かわいい」というイメージの正しい理解を助けるため、「幼い」を補足として追記

＜改訂前＞

パールトーン（p）：かわいいイメージ

＜改訂後＞

パールトーン（p）：かわいい、幼いイメージ

p.61 [参考資料：PCCSのトーンの感情効果] のトーン図内のvトーンとbトーンの色を調整

➡実際のトーン図は、ここには再現できないため、改訂版テキストでご確認をお願いいたします。

p.62 CHECK トーン & 明度の関係と留意点 の ＜トーンの明度範囲＞ の図内

図内に「高明度」「中明度」「低明度」の区分線を追加

➡実際の図は、改訂版テキストでご確認をお願いいたします。

p.62 CHECK トーン & 明度の関係と留意点 の ●全ての色をトーンに当てはめて・・・ の文を以下の通り変更

PCCS トーン図は、無数にある色のうち代表的な色を用いて作成されています。つまりトーン図に表示されていない色は数百万色にのぼります。パーソナルカラーを分析診断する際は、数ある色の中から似合う色を属性で細かく見比べていきます。似合う色もそうですが、目の前の色が「bとsfの間あたり」というように特定のトーンにぴったり当てはめることは難しいことも理解しておきましょう。

p.67 ●興奮と沈静 の右下「沈静」のイラストの色をわかりやすくするため、彩度を下げました

➡実際の色は、ここに再現できないため、改訂版テキストでご確認をお願いいたします。

p.81 ●グラデーション の4～5行目

＜改訂前＞
色にし、できるだけ・・・
きりしない・・・と呼ばれます。

＜改訂後＞
色にし、色の属性をできるだけ・・・
きりしない・・・といいます。

p.83 ●セパレーション 説明の1行目

＜改訂前＞
セパレーション・・・という意味で、セパレーション

＜改訂前＞
セパレーション・・・という意味で、色と色の間にセ
パレーション

p.83 ●セパレーション 説明の最終行

＜改訂前＞
の役割・・・が使われます。

＜改訂前＞
の役割・・・が使われます。（目立つ色を使うとアクセ
ントカラーにもなります）

p.83 ●セパレーション の一番下右側の配色例 のセパレーションカラー を修正
➡実際の色は、ここに再現できないため、改訂版テキストでご確認をお願いいたします。

p.96 パーソナルカラーを体験しよう の4行目

＜改訂前＞
※通常のパーソナルカラー・・・P106で紹介する「ド
レープ100」など・・・

＜改訂後＞
※パーソナルカラー・・・P106「JPCA 公式パーソ
ナルカラー・ドレープ」など・・・

p.105 の下から2行を以下のように変更

色の見分けは『配色ワークブック』※の活用でさらに理解が深まります。
実施の試験問題に取り組みたい方は『過去問題』※にチャレンジしてみてください。
※次ページ「教材を入手しよう」参照。

p.106 教材を入手しよう のページの内容を差替えました。
教材の金額表示を廃止、新しい画像と変更